

モラルの崩壊 1

この稿、もともとは「モラル・ハザード」にするつもりであった。モラルは、「倫理観」と言った感じの訳語であり、なんとか日本語のなかにも違和感がなくなったようだ。ところがハザードについては、英語の適切な訳がないからやむなくハザードのままに使用しているようである。よく使用されるのは、バイオハザードだろう。これを「崩壊」などと訳すのには少なからぬ抵抗がある。そこで表題の「モラルの崩壊」にした。……もうひとつ理由があって、高山正之さんと日下公人さんの対談にでていて思わず笑ったのが、高山さんの言う、「モラル・ハザードというのは、もともとモラルを備えた人が、たまたま一度だけ道を踏み外すことです（笑）。」（アメリカはどれほどひどい国か 共著）……でもともとモラルのないのが偉そうに言うから、そんな言葉を使いたくない、理由からである。

一連の食品偽装、政治の金権体質、役人のたかり。もう本性としか思えない。服役したあとに真犯人が判明するといった警察検察の不手際などなど。税金の取りすぎなど、まったく役人の間違いであることは疑いもない。これらのことは政権が変わろうが全く変わると

ころがない。・・・野党のときには、責任がないから好きなことが言えたがいざ政権党になったら、いくつもの**論理の破綻が顕著**になってくる、あるいは来た。危機管理ができないことはすでに書いた。事業仕分けについても、吹き出してしまったのだが、これも書いた。

今回の話は、**教育の話**である。日教組による悪平等の方針、倫理・道徳教育への反対など、日本人が従来先祖代々大切にしてきた**恥の文化**を「自分たちにはないからと言って」ないがしろにした結果、現在の有様である。恬として恥じるところがない。・・・その典型が、昨年かもう一昨年かの大分県の教育委員会のみつともなさである。北海道も広島もひどいのだが、稿を譲る。

大分県の教育委員会の委員に贈賄して校長になったのがたくさんでてきて、その額も 100 万円だという。こんな連中が子供たちに向かって、「わるいことをしてはいけません。うそをついてはいけません。」などと説教をたれるのである。・・・贈賄する方もする方だが、平気で受け取って人事を左右する教育委員会の**志操の低さ**には呆れるばかりである。しかも、「相場がきまっている」のが二重の驚きである。今回偶々発覚したのだが、代々うけつがれてきたとしか考えられない。あるいは暗に、あるいは露骨に要求したのかもしれない。

教育委員会といっても、志の低い連中が牛耳っていたことがわかる。

大分県では、教育技術の向上よりもまず「蓄財」。しかし、なにも大分県のみならず、「あー、よくまあバレなかったものだ」と程度の差はあれ、胸撫で下ろしていた連中がいくらでもいたのではないか。

最近の話でいえば、大阪府教育委員長が料亭で接待をうけていたことが露見して、辞めるのかと思えば、全職員に綱紀肅正の文書を配布したという、恥ずべきことがあった。そんな節操のないのは委員長、おまえじゃないか！・・・辞めたら枚方市かどこかの市長になっている。委員長のときに自己規制のできなかった人物である。また、前任者のように金まみれになるのやろネ。

大阪の教育委員会に限らないが、子供に体罰（これの定義でもめることがあるのだが、そういうことに拘らず）すると教師の左遷。悪ガキにはおとがめなし。こんなのは、「教育するだけの意味がない」連中なのである。もっと恥ずべきは、府知事の友人が校長になるといふ。・・・事前に知事の友人だとわかっていたが、知事からは何も言ってこなかった。当たり前じゃないか。言えば圧力になって知事の立場がなくなってしまう。・・・然るに試験の成績も合格していたから、合格にした。ここでも恥が消え失せている。遊び半分で、好

奇心のみで教育をやられては子供たちの将来にいいはずがない。・・・
教育委員会には気骨も羞恥心もないことがわかった。「友人」とわか
った時点で暗黙の了解で「不合格にするべき」なのである。名をこ
そ惜しめ！ 初めから知事の意向に沿うように動いている。単に迎
合している。・・・「ゆとり教育」などといった馬鹿げたことを考
え出した役人の罪は重いのだが、責任をとったという話も聞かない。

府知事について書けば、思いつきはかまわないが、TV のファン
向けの話ばかりで夏彦さんの言う「茶の間の正義」だから抵抗する
だけ無駄というもの。府の職員に尋ねてみたらいい、100 人のうち
賛成するのは、3 人いたらいい方だろう。横山ノックの当選と同じ
レベルの話で、府民の選挙に対する姿勢がうかがわれる。・・・これ
は何も大阪だけではなく、日本中がそうなのだが。

教育は、その日何が食べられるか、という貧乏な時代においても、
「国家百年の理念」があれば必要不可欠のものである。昔、重光葵
さんだったかが国会答弁で、本音なのだろうが「経済復興が喫緊の
優先課題で、教育などにかまけていられない」正直に言ったものだ
から南原繁さんらに噛み付かれたことがある。

全国一斉学力テスト（日教組は当然反対）を実施すると、さりげ

なく解答を教えるような教師がでてくる。これは数 10 年前と同じ発想で、成績の悪そうな子を休ませるようなものと同じである。結局はその使命感の高さによるのだが、この程度の教育委員会にこの程度の教師なら、話はすべて通じる。・・・日教組を解体せよ、もむべなるかな。

卒業式 2 題。君が代日の丸に反対なら、朝日新聞や毎日新聞の一部にいるような日本解体論者なら、何も日本にいる必要がない。出て行ってくれ！ 大好きな中国の方が広いから住みやすいじゃないか。・・・それよりも間違った歴史や伝統を教える方が罪が重い。

また、かつては「仰げば尊し我が師の恩・・・」が定番だったが、当の教師の間から「われわれは、そういうふうに思われるほどのことをして来なかった」という「自己批判」がでて、現在は中止されている。「いい意見を出した」とでも思っているなら、おまえらはアホや。なぜそういう仰げば尊しと思われるような努力をしないのか。胸を張ってそう言ってもらえるように努力しないのか？ R. ケネディの“Why not?”である。なぜしないのか？ それがいやなら教師を辞めろ。現場の人間が努力を怠り、評論家になってしまっている。・・・教育委員会と同じレベルじゃないか！ 2010.02.11.